

## ある45歳の男性が、レメディ「Ars.」を飲んだ後の経過概要

2000年7月末：初回セッション

Ars.30C 1粒飲む。

8月初旬～中頃：とても縁起の良い夢を見るようになった。

8月末：2回目セッション

Ars.200C 1粒飲む。

9月末にけいれん発作のようなものが起きたが、過去のものとは違い、気分が良いもので、寝込む必要も起きなかった。（以前は、発作後気分が悪く、1週間は寝込んだ）何より驚いたのは、それ以降、けいれん発作が起きなくなり、根治したこと。

但し、抗けいれん剤は、急に止めるのは危険があるので、5年ほどかけて、次第に減らして行った。最後は、担当医の了承を得て、薬と病院から離脱した。

また、その後、レメディは、「Ars.」だけでなく、別の種類のものも飲んで来た。けいれん発作以外の症状（心臓の圧迫感・胆石発作等）もあり、都度、ホメオパスに処方をお願いした。Carc.Nux-v.Lyc.Staph.Chin.など。いずれも効果的だった。

初回セッションから20年以上経つ。その間、けいれん発作は無く、心身ともに健康を維持している。

以上